

令和4年 **6**月の**安らぎ**通信



老朽インフラ、潜むリスク 愛知漏水で電力供給 1~2 割減 全国「寿命超え」5割 行政の対応後手に

- *工業や農業に使う水利施設は5割以上が耐用年数を超えます。
 - ・工業用にも使われる農業水利施設の55%は耐用年数を超えています。
 - *2033年に道路橋の63%、トンネルの42%、水門など河川管理施設の62%が寿命を迎えます。
 - *橋やダム、下水道など主要施設の修繕に必要な費用は、不具合が生じてから手当てする従来型手法だと30年間で約280兆円に上ります。
- (2022年5月25日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



震度4以上 3月以降23回 1~2月は3回 専門家「地震活動注視を」 気象庁「通常の範囲内」

- *春先から日本周辺で震度3~4程度の地震が頻発しています。
- *3月以降、これまでに最大震度4以上は全国で計23回、1~2月の計3回から大幅増。
- *気象庁は「地震活動は活発な時期と落ち着いた時期があり、異常ではない」。

☆「いざ」備えるポイント 家具の転倒・落下防止必要

- *地震でけがをした人の3~5割は、家具の転倒や落下が原因。
- *転倒時にドアや避難路を塞がない場所に家具を置く。
- *タンスなどはL字金具や突っ張り棒で固定。
- *食器棚には開放防止器具やガラスの飛散防止フィルムが有効。
- *水やレトルト食品は最低3日分、できれば1週間分を備蓄。
- *スマートフォンの予備バッテリーも。
- *「災害用伝言ダイヤル(171)」の活用など、家族で安否確認の方法を決めておくのも重要。
- *緊急地震速報が発表されたらテーブルの下などに隠れ、照明器具の落下などに注意。
- *屋外ならブロック塀や看板のあるビルには近づかない。
- *沿岸部では津波警報が出たら高台に避難。
- *ラジオなどで行政情報を収集。
- *避難は徒歩が望ましい。

(2022年5月31日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)